



難波っ子

平成30年度2月号
尼崎市立難波小学校
校長 兼田 隆男

書き初め展から

日本の正月の年中行事に書き初めがあります。本校でも1月17日（保護者対象）、18日（児童対象）に書き初め展を開催しました。どの学年の子どもたちも真剣な眼差しで書いていました。少し、書き初め展の作品について考えたいと思います。

1年 **空は青く白いくもがうかんでいます。まさおくんが、「たこ上げをしよう。」**といいました。

1、2年生は文になっています。最近、公園でたこ上げをしている光景を見ることが少なくなりました。温故知新。昔のことを知り、新しいことを発見し、新しい意味を見つきたいものです。また、青く雄大な大空のように子どもたちも大きく成長して欲しいと願うばかりです。

2年 **新しい年です。ことしもみんなと力を合わせて、元気でがんばっていきましょう**と思います。

その通りだと感じます。また、今年は特に元号が変わる年です。新しい元号のもと、難波っ子たちが力を合わせて、元気よく頑張っていくことを期待しています。

3年 **生きる力**

子どもたちも将来、社会人として生きていきます。様々な問題や困難にぶつかることもあります。それらに負けることなく解決して社会生活を豊かに、前向きに、有意義に送る力、それが「生きる力」です。国はそれを①確かな学力、②豊かな人間性、③健康と体力と定義づけしています。「生きる力」は短時間、短期間で身につくものではありません。その「生きる力」をつけるために、今の勉強、集団生活、集団の中で色々な経験をするなど大切になります。ご家庭でも子どもの将来の「生きる力」をつけるために家庭教育にご協力をお願いします。

4年 **元気な子**

運動場で子どもたちが走り回っている姿を見て、いつも元気が何よりだなと感じます。その元気を支えているのは保護者のみなさんの強い愛情です。それこそが子どもたちの元気の源です。これからもたっぷり愛情をかけてあげてください。

5年 **美しい空**

尼崎市も昔に比べて本当に美しい空が見られるようになりました。子どもたちの美しい心を映しだしている空です。これからも学校と家庭と力を合わせて美しい空のように子どもたちの美しい心を育てていきたいと思います。よろしくお願いします。

6年 **希望の朝**

人生、どんなことが起こるか分かりません。でも、必ず毎日、朝はやってきます。朝はエネルギーと希望で満ちあふれています。子どもたちがつらいことや苦しいことを経験した時には、是非、保護者の方が明るく、温かく接し、子どもが希望を見つけることができるように応援してあげてください。